

# いちょうだより



保土ヶ谷支援学校 学校便り 第40号 令和7年 3月6日 発行

今年度最後の「いちょうだより」になります。保護者の皆様、地域や関係機関の方々、1年間ご愛読いただき、ありがとうございました。

学校では、3月に入り卒業式を迎えたり、1年間のまとめや新年度に向けての準備の時期に入ります。今年度を振り返って、ご挨拶申し上げます。

## 『令和6年度を振り返って』

校長 福田 裕志

冬の寒さも和らぎ始め、学校の周りでも少しずつ春の訪れを感じることができるようになりました。校内の桜の花が咲く時期も近づいていますので、その美しい風景を見るのが楽しみです。

さて、今年度は、11月に初めての保土ヶ谷支援学校作品展を実施しました。子どもたちが日々の学習の中で作成した数々の作品は、表現豊かで、一人一人の個性が溢れているようなものばかりでした。見に来ていただいた方々から多くの称賛をいただきました。子どもたちにとっては、次の作品作りに向けての意欲の向上につながったと考えます。

また、体育館や木工室の空調工事が12月に終わり、快適な環境の中で活動できるようになりました。これまで厳しい暑さや寒さの中で体調管理に注意しながら運動や学習を行ってきましたが、今後は季節に関係なく元気に楽しく取り組めるようになると期待しています。

そして卒業や進級の時期を迎えることになりました。保土ヶ谷の子どもたちが新たな一步を踏み出すことになりますが、今までの努力によりできるようになったことや得意なことをいかし、自分らしく、自信をもって、これから多くのことにチャレンジしてほしいです。

保土ヶ谷支援学校では、今後も地域との関わりを大切にしながら教育活動を進めてまいります。共生社会の実現を目指し、子どもたちが多くの人と支え合い、助け合いながら、生活できるようになることを願っています。引き続き学校関係者の皆様の御理解と御協力をお願いします。

## 『歴史ある学校に思うこと』

副校長 坂梨 尚美

保土ヶ谷支援学校は今年度創立50年目を迎えました。この歴史ある校舎に一歩足を踏み入れた時、20年前に勤務していた学校と同じ風を感じ、懐かしさに胸が躍りました。渡り廊下がほぼ外で「バリアフリー」が一般的になる前から思いっきりバリアフリー！内外を気にせず走り回れる解放感！壁や廊下のあちらこちらに素敵な作品が飾ってあってにぎやか！いたるところから子どもたちの笑い声が聞こえてきそうな学校に勤務できることをとてもうれしく思いました。さらに校舎の西側には広い広い農園もあって、保土ヶ谷はとても魅力的な学校です。

先日、地域の方と話す機会があり、コロナ前は毎年バザーを楽しみにしていたこと、農園で凧揚げをしたこと、自治会館で生徒と一緒に花を植えたこと、校長先生が講師になって陶芸教室を開いていたことなどを伺いました。50年の歴史の中で地域に根差し、地域とともに歩んできたことをしみじみと感じることができました。昨年12月にタウンミーティングを開催しましたが、参加された地域の皆さんからは「来年もぜひやってほしい！」との声をいただきました。次年度は50周年を記念したイベントを企画しています。地域の中で地域とともに、新たな歴史を刻んでいきましょう！

## 『つながり』



教頭 小倉 裕之

今年度は小学部・中学部・高等部の修学旅行に帯同しました。楽しい思い出とともに、他者意識が広がり、関りを持つ人への敬意と、環境を受け入れる気持ちが育つのと同時に、子どもたちが成長を遂げていることを実感しました。人と関わる(つながり)ことの大切さを改めて感じました。

12月25日(水)に「ほどがやタウンミーティング」を開催し、地域の方と「切れ目ない支援」について話し合いました。内容は「地域で暮らすということ」「進路支援について」「地域防災」をテーマとしました。中でも地域防災は参加者の関心が高く熱のあるミーティングになりました。その中で、災害の時だけ「助けて」と言って助け合うことができるかという問い合わせには参加者全員が「はっ」としました。日常からの関係性(つながり)の大切さを強く意識する機会になりました。

本校は令和7年度に50周年を迎えます。地域とのつながりを見つめ直し地域の皆様の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていきたいと考えています。これからもご協力をお願いします。

## 『思いをキャッチ！』

教頭 杉山 美奈子

豊かな自然と元気な子ども達の姿や声があふれる保土ヶ谷支援学校に着任して、1年が過ぎようとしています。本当に月日が経つのは早い…と実感しています。

さて、12月に実施した「教育活動に関するアンケート」に、ご協力どうもありがとうございました。今年度は、インターネットでの回答方法も実施しました。インターネットは、子どもたちが授業等で学ぶ場面以外にも私たちの様々な生活場面で活用され、日々技術が進歩しています。その進歩の速さに追いつくことは、個人的にはなかなか大変なのですが、回答しやすく皆様の「思い」をキャッチしやすい手段としても、より良く活用していきたいと思います。

また、皆様の「思い」は、授業参観・作品展等の学校行事や面談等でも、お顔を合わせてキャッチできる機会があります。直接お会いしてコミュニケーションを取ることを大切にしながら、引き続き教育活動を進めてまいります。今後とも皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願ひします。

## 《保土ヶ谷支援学校の2025》

保土ヶ谷支援学校は、これまで多くの方々に支えられ、創立50周年を迎えます。また、現在、在籍している児童・生徒たちは、毎日元気いっぱい積極的に学習や運動に励んでいます。これからも、一人ひとりが「楽しく・元気に・笑顔で」学べる学校を目指して、教職員一同取り組んでいきますので、ご協力をお願い申し上げます。

## 《ホームページもご覧ください！》

学校ホームページでは、「いちょうだより」でお伝えしきれない情報も多数掲載しております。ぜひ、遊びに来てください。

URL : <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/hodogaya-sh/>

